

保育活動専門員
認定制度
対象研修会

100ポイント



第67回

全国保育研究大会

奈良大会

開催要項

「すべての子どもの権利と育ちを保障していく 社会の実現」をめざして

趣旨

令和5年度に「こども家庭庁」が創設され、「こども基本法」に基づく「こども大綱」が作成されました。また、「こども誰でも通園制度(仮称)」や「かかりつけ相談機関」など、保育所・認定こども園等には、地域子育て家庭への支援が期待され、その役割は大きくなっています。

私たち保育・子育て支援関係者は、子どもの安全・安心を守ることはもちろん、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、保育の社会的な意義・役割をあらためて確認したうえで、日々取り組みを充実させていかなければなりません。加えて、養護と教育の下にこれまで培ってきた保育の営みの大切さを、いまいちど広く社会にアピールする必要があります。

こうした保育をめぐる情勢をふまえ、すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現をめざした私たち保育関係者の姿勢を広く社会に発信すべく、多様なテーマでの研究協議を深め、実践を学びあうことにより、保育の質の一層の向上をめざし、第67回全国保育研究大会を開催します。

主催

全国社会福祉協議会・全国保育協議会 / 全国保育士会
近畿ブロック保育協議会、奈良県保育協議会
(実施主体：全国保育協議会、奈良県保育協議会)

後援

こども家庭庁、奈良県、奈良市、奈良県社会福祉協議会《予定》

期日

令和6年10月17日(木) ~ 18日(金)

定員

1,200名

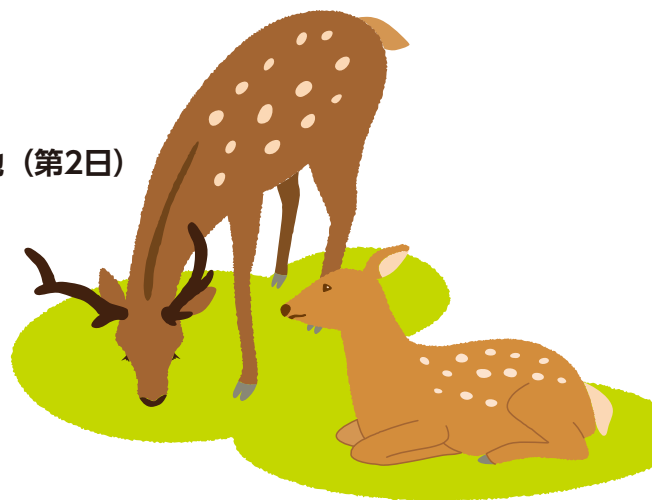
- 保育所・認定こども園等関係者、保育行政関係者、保育士養成関係者、保育協議会・社会福祉協議会関係者 等
- 保育・子育て支援に関心のある皆さま (一般の方も参加いただけます)

会場

全体会会場
なら100年会館 (第1日)
分科会会場
奈良県コンベンションセンター 他 (第2日)

参加費

会員：20,000円
会員でない方：25,000円



日 程

令和6年10月17日(木) ~ 18日(金)

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
10月17日 (木)			表彰 記念撮影	受付 11:30~ オープニング アトラクション 12:30~	開会式 式典	行政説明 基調報告 他		記念講演	全体会
10月18日 (金)			分科会 第1分科会~第11分科会					閉会	

第1日(全体会・式典) 10月17日(木) 13:00~17:25

10:30 ~	表彰記念撮影(※希望者のみ)
11:30 ~	受 付
12:30 ~	オープニングアトラクション マリンバ演奏
13:00 ~ 14:00	開 会 ● 式典 ● 児童憲章朗読 ● 全国保育協議会 表彰 等 (休憩15分)
14:15 ~ 15:15	行政説明 ● こども家庭庁成育局保育政策課(予定)
15:15 ~ 15:45	基調報告 ● 全国保育協議会 会長 (休憩20分)
16:05 ~ 17:05	記念講演 「童謡には秘密がいっぱい」
17:05 ~	全国保育協議会・全国保育士会 大会一本化について* 次期開催地(東京都)あいさつ
17:25	第一日終了

※全国保育協議会と全国保育士会とが協働し、保育士・保育教諭等の専門性を高め、保育所・認定こども園等が子ども子育て支援に欠かすことのできない社会資源として、地域の人々からのさらなる信頼と支持を得ることをめざし、研究大会のさらなる質の向上に向けて、令和7年度から一本化し、「全国教育・保育研究大会」として開催します。

● オープニングアトラクション 心を寄せて マリンバ奏者・松本 真理子 氏

マリンバ人口の多い奈良県。町のおちらこちらからマリンバの音が聞こえます。木の温もりを感じる優しい音色、心浮き立つリズムの躍動。全身を使って音楽表現するマリンバの魅力にはまって半世紀。聞いてくださる方を元気にしたい、生きている喜びを味わっていただきたい。奈良に来て良かったと思っただけの様に、心を込めて演奏いたします。プログラムも吟味しました。華やかなオープニング演奏をお楽しみに。



● 記念講演 「童謡には秘密がいっぱい」 講師:合田 道人 氏(作家/一般社団法人 日本歌手協会 理事長)



「七つの子」の「七つ」って? 「しゃぼん玉」って悲しい歌だったの? など、子どもたちからお父さんお母さん、更にはおじいちゃんおばあちゃんまで誰もが口ずさんで知っているはずの、でも改めて言われると「???」という童謡や唱歌たち。そこに隠された秘密や込められた思いを、シリーズ累計60万部突破の書籍『童謡の謎』の著者・合田道人 氏が、軽妙なトークとともに紐解きます。笑い、涙、身近な童謡を通して必ず何かを感じていただける、一緒に考え一緒に歌う参加型の講演です。

【合田 道人氏のご紹介】

1979年に「釧路にて」で歌手デビュー。2002年刊行の著書「童謡の謎」シリーズは60万部を超えるベストセラーとなり、続く「社長の謎」シリーズも大ヒット。BSテレ東「プレイバック歌謡祭」などの司会でもおなじみ。

第2日(分科会) 10月18日(金) 9:30~15:45

- ≫ 全保協 将来ビジョンに示した5つの取り組みのカテゴリーをもとに、分科会を構成します。
- ≫ 分科会は、令和5~7年度で設定された「共通研究テーマ」による意見発表を中心に研究・協議する分科会と、全国保育協議会の企画により開催する分科会、奈良県保育協議会の企画により開催する分科会、さらにはフリー発表分科会の4種で構成します。
- ≫ 分科会会場ごとに参加定員を設定し、先着順で受け付けます(※)。
- ≫ 本大会の第1~7,9分科会においては、グループディスカッションを実施する予定です。

(※) 受付は、参加申込書を受領した順に、名鉄観光(株)MICEセンター(旅行代理店)から返信する受領メールの受信をもって受付完了といたします(申込サイトに参加申込をご入力いただいた段階では受付完了となりませんので、ご注意ください)。

	テーマ
第1分科会	新たな時代の保育実践~すべての子どもにむけて~
第2分科会	配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて
第3分科会	保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する
第4分科会	地域の子育て家庭への支援の充実にむけて
第5分科会	子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた関係機関とのネットワーク
第6分科会	家庭や地域との連携による食育の推進
第7分科会	保育の社会化にむけて~保育の営みをいかに社会に発信するか~
第8分科会	開催地企画分科会「福祉発祥の地、奈良からの発信」
第9分科会	公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割
第10分科会	全保協企画分科会
第11分科会	フリー発表分科会



※分科会は奈良市内の会場を予定しています。詳細が決まり次第、HP等でお伝えします。
 ※会場周辺の駐車場は一般の方もご使用しますので、公共交通機関をご利用ください。
 ※各会場へのアクセス等は各施設HPをご確認ください。

日
程

分科会の
内容

参加申し
込みにつ
いて

子どもの育ちを保障する

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が持つ発達する力を活用することができるよう支援し、子どもの育ちを保障することにあります。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深めます。また、研修を充実し、保育を実践する人材の育成に取り組みます。

第1 分科会

新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／^{きたの さちこ}北野 幸子 氏 (神戸大学大学院 教授)

第2 分科会

配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／^{ななきだ あつし}七木田 敦 氏 (広島大学 教授)

第3 分科会

保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／^{しみず ますはる}清水 益治 氏 (帝塚山大学 教授)

子育て家族を支える

子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。保育所・認定こども園等は、保育・子育て支援機能を充実し、多様化する働き方のなかで新たな子育て家庭のニーズに応え、子育て支援の拠点として、すべての子育て家庭を対象とした支援を展開します。

第4 分科会

地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／^{たちばな なおき}立花 直樹 氏 (関西学院短期大学 准教授)

多様な連携と協働をつくる

子育て不安や児童虐待への対応等、子どもと子育て家庭への支援は、地域社会を基盤として多面的に取り組みを充実していくことが大切です。保育所・認定こども園等は、さまざまな機関・組織・団体や地域住民が連携・協働して地域の保育機能を高めるための中心的存在として、役割を果たします。また、必要に応じて、社会福祉法人の法人間連携、公私や民間施設相互における事業連携をすすめます。そして、企業や非営利活動法人等との多様な連携を研究します。

第5 分科会

子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた 関係機関とのネットワーク

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／^{くらいし てつや}倉石 哲也 氏 (武庫川女子大学 教授)

◎各分科会の発表者およびテーマは全保協HPでお知らせします。

※助言者の役職は令和6年3月31日時点の情報です。

カテゴリー

IV

子育て文化を育む

子どもを対象とした犯罪や虐待を未然に防ぐために、次世代を創造する子どもをかけがえのない存在として愛しみ、尊いものとして価値を認め、子どもや子育てに多くの人が関心を持つ子育て文化をつくります。保育所・認定こども園等が社会全体で育む子育て文化を地域社会に発信します。また、地域共生社会を実現するため、保育所・認定こども園等の機能を社会に開き、地域社会に根ざした運営をめざします。

第6
分科会

家庭や地域との連携による食育の推進

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／^{つみ}堤 ちはる 氏 (相模女子大学 教授)

第7
分科会

保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／^{おおがた}大方 ^{みか}美香 氏 (大阪総合保育大学 教授)

●開催地企画分科会

第8
分科会「福祉発祥の地、奈良からの発信」
～親と子の関りを考えながら、奈良を深く知る～

■ 講師／^{にしやま}西山 ^{あつし}厚 氏 (帝塚山大学 客員教授)

運営：
奈良県保育協議会



死んだ子の親（東大寺、法華寺を建立した聖武天皇、光明皇后）、死んだ親の子（西大寺を復興した叡尊上人）を通して、世界を大きく変えていく親と子の関係を、参加者がそれぞれの現地を訪ねて、「子どもにとって親の存在」「親にとって子どもの存在」を、奈良の地で奈良時代から広げて考えます。

午前中は西山氏からの講義を受け、午後は東大寺や法華寺、西大寺などを巡ります。西大寺では、叡尊上人の「一味和合」の心を伝える、大茶盛体験もあります。

※大会参加費とは、別途分科会参加費（バス代、昼食代）をいただきます。
参加費は申込サイトをご確認ください。

カテゴリー

V

子育て・子育てを支援する仕組みをつくる

わが国の家族関係の給付のGDPに占める割合は諸外国のなかでもとても低い水準です。こうした政策のあり方を改善するとともに、未来の日本の社会を担う子どもを中心に、子どもたちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みについて研究・提言します。

第9
分科会

公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

(講義・意見発表・演習)

■ 助言・指導／^{まえだ}前田 ^{のぶみ}信美 氏 (山陽学園短期大学 准教授)

日程

分科会の内容

参加申し込みについて

特別分科会

第10 分科会

運営：
全国保育協議会

- ≫ 全保協企画の分科会となります。最新の制度動向を踏まえ、内容を企画し、今後HP等でお伝えします。

第11 分科会

運営：
全国保育協議会

フリー発表分科会

- ≫ 希望者による自由なテーマの発表を聴くことができる分科会です。
- ≫ 終日（9：30～15：45予定）にわたり、多様なテーマによる発表が行われます。

【フリー発表分科会にて 発表をご希望される方 について】

- ≫ 発表のお申込みについては全保協ホームページを必ずご確認のうえ、ホームページより申込書をダウンロードください。申込書をご記入のうえ、全保協事務局あてにメールもしくはFAXにてお申込みください。



- ≫ 以下は、概要です。詳細は、必ずホームページをご覧ください。

発表日時：令和6年10月18日（金）9：30～15：45

分科会会場：奈良市内の会場（決まり次第お伝えします。）

発表時間：1テーマにあたり25分程度（研究発表：20分、質疑応答：5分）

募集内容：保育・子育て支援に関する研究発表

応募条件：応募時に全国保育協議会会則第4条に定める会員に所属する関係者または、保育・子育て支援に係る行政関係者であること

※そのほかの注意事項あり（ホームページを必ずご確認ください。）

参加費：発表者各自のご負担

応募締切：令和6年6月17日（月）

※「全保協 将来ビジョン」およびビジョンにもとづく「共通研究テーマ」については、全国保育協議会のホームページでご確認できます。



「全保協 将来ビジョン」



「共通研究テーマ」

全国保育協議会では、令和5年度より都道府県保育協議会からの申請^(※)に基づき、都道府県庁に対し「処遇改善等加算Ⅱにかかる認定研修実施主体」の申請を行っています。

※指定都市がある都道府県は、指定都市保育協議会と調整のうえ申請

都道府県が「処遇改善等加算Ⅱにかかる認定研修実施主体」として、全国保育協議会を認定した都道府県にある「認定こども園」においては、全国保育協議会が実施する研修を受講した時間を、認定研修の修了すべき研修時間のなかに積算することができます。都道府県の認定状況については全国保育協議会のホームページをご確認ください。

上記の取り扱いは、「認定こども園」のみが対象となります。

参加申込みについて

参加お申込みは専用サイトよりお申込みください。

※宿泊等のお申込みも同専用サイトよりお申込みください。

URL <http://www.mwt-mice.com/events/2024zenhokyo67>

▶ **参加登録のお申し込み締切 令和6年8月30日（金）**



専用サイトへは全国保育協議会ホームページの「研修会・大会のご案内」からもアクセスいただけます。

URL <https://www.zenhokyo.gr.jp/information/>

- 専用サイトで、参加申込みが完了された方には、申込み完了後、24時間以内に登録されたメールアドレスに申込み完了メールを送信しますので、必ずご確認ください。
※お使いのパソコン等でセキュリティのためメールの受信拒否設定をされている方は、@mwt.co.jp ドメインからのメールが受信できるようあらかじめ設定してください。
- 参加申し込みの登録操作方法は、専用サイトのトップページをご確認ください。
- 締切日令和6年8月30日（金）までの変更・取消は参加者ご自身にて専用サイトで変更等の操作をしてください。
- 締切日以降の変更・取消は、専用サイトのお問い合わせフォームからの送信、または名鉄観光サービス(株)MICEセンターまでご連絡ください。

1. 参加申し込み

2. 参加費用等の振込および当日参加までの流れ

- お申込み完了後、9月中旬以降に参加費等振込のご案内をメール送信します。
振込口座・振込期日等はメールにてご確認ください。
- ご入金確認後、開催1～2週間前をめどに最終のご案内をメール送信します。
- メール内容をご確認いただき、お申込者自身で参加券等をダウンロードのうえ、大会当日の会場受付にてご提示ください。**
- 参加費入金の有無にかかわらず、8月31日（土）以降の参加取消については、大会参加費が発生いたしますのであらかじめご了承ください。

3. 留意事項

- 大会の録音、録画、撮影、転用、および資料の複写・転載等は固く禁止します。
- 体調不良等により本大会に参加できなかった場合は、資料の提供をもって替えさせていただきます。参加費の返金はいたしません。
- 個人情報の取り扱いについて

- ・参加のお申し込みにあたりご提供いただいた個人情報は、本研修会の運営・管理の目的に限り使用します。
- ・なお、本大会の申込み受付等に関する業務を委託する名鉄観光サービス(株)MICEセンターには、上記の目的のため、情報を共有します。

4. お申し込みに関するお問い合わせ先

■大会参加等のお申し込み・お問い合わせ先

名鉄観光サービス(株)MICEセンター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3595-1121(受付時間:平日10:00～17:00) / FAX. 03-3595-1119

■大会の内容等に関するお問い合わせ先

全国保育協議会 事務局(全国社会福祉協議会 児童福祉部 内)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル4階

TEL. 03-3581-6503 / FAX. 03-3581-6509



興福寺



奈良公園



若草山



朱雀門



第一次大極殿

個人情報の取り扱いについて

個人情報については、本会の「個人情報保護に関する方針等について」にもとづいて取り扱います（個人情報の保護に関する方針は全保協のホームページに掲載いたしております）。参加申し込みの際に登録された個人情報は、本大会の運営・管理の目的に限って使用します。

なお、本大会のお申込み受付等に関する業務を名鉄観光サービス(株)MICEセンターに委託し、実施するため、上記目的の範囲で情報を共有します。

参加者名簿の作成について

参加者、関係者間の相互連絡を目的とした「参加者名簿」を作成いたします。参加者名簿には、参加申し込みの際に登録された「都道府県・指定都市名」「施設名」「役職名」「氏名」ならびに参加される「分科会番号」を掲載いたします。なお、取扱いにあたっては、左記「個人情報の取り扱いについて」に抛り、本大会に関係のない者への譲渡、貸与、目的外の利用を固く禁じるものとします。

事故防止および公衆衛生のための措置

主催者として大会開催にあたり、事故防止および公衆衛生のための以下の措置を講じます。

- ・来場者に有事の際の避難経路を確認していただくこと。
- ・体調のすぐれない方の来場を控えていただくこと。

全国保育協議会・全国保育士会「保育活動専門員」認定制度について

全国保育協議会および全国保育士会では、主催する大会・研修会に参加し研鑽をされている方を対象として「保育活動専門員」として認定し、申請にもとづいて認定証を発行しています。これまでに、1,858名の方が認定を受けられています。

本制度では、大会・研修会に参加することで得られる参加ポイントと、大会等で発表を行った方に加算される発表ポイントを設定し、一定数以上のポイントとレポートを提出することによって認定証を取得することができます。本大会の参加者等にも下記のポイントが付与されます。

※「保育活動専門員」認定制度の実施要項は会報4月号に同封してお送りしています。また、全保協のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

本大会は「保育活動専門員」認定制度の対象研修会です。[参加により取得できるポイント 100ポイント]

※上記100ポイントに加え、第1～7、9分科会発表者には200ポイント、フリー発表分科会発表者には50ポイントが加算されます